

押方保育園 自己評価結果

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。このことを踏まえ押方保育園では保育の質の向上を図る為に、令和3年3月に職員の自己評価を行い、保育所全体の自己評価表として集計致しました。さらに令和3年度を過ごしてみて、改めて今後もより良い保育を提供できるように考えていきたいと思えます。

評価基準 子どもの育ちを支える保育内容、職責などを3つのランクで評価しています。

- A : 取組・把握・整備を十分行い、共通理解も十分図られている
- B : 取組・把握・整備は行っているが、共通理解が十分ではない
- C : 取組・把握・整備を行っていない

評価責任者 押方保育園 主任保育士 甲斐原子

評価項目	評価	評価の根拠、改善方法
保育所の理念、基本方針を読み、理解しているか	A	入職時にオリエンテーションを行い、プリントやホームページにて周知を行っている。
保育所における自分自身の役割や責任を理解しているか	A	子どもの命を守ることを第一に、各自の責任を理解していると考えます。
個人情報の保護や守秘義務を理解しているか	A	理解している。小さな町なので、知り合いの知り合いがたくさんいる地域であるが、業務上知りえた情報は、園外に漏らすことがないように、職員全員に周知する。
子どもの発育や発達の状態、家庭での様子など保護者と情報共有できているか	A	口頭や連絡帳アプリを活用し、情報共有できている。
子どもの健康(機嫌・顔色・熱・食欲等)について、登園時・保育中に把握しているか	A	登園前及び保育中の体温測定、午睡チェック、視診など心がけている。
子どもの生理的欲求(食欲・睡眠等)が満たされるよう配慮しているか	A	調理師、栄養士と連絡を取り合い、子どもたちがおいしく残さず食べる給食になるよう配慮。睡眠時は就寝に必要な採光や音楽を調整し、心地よい睡眠を提供。排泄も無理なく整うよう個々に合わせて配慮している。

<p>子どもの状況に応じて、あたたかなやり取りやスキンシップ、声掛けを行っているか</p>	<p>A</p>	<p>個人差を受け止め、個々を大事に個別配慮できるよう行っている。また、クラス担任を主軸にして、保育士により配慮方法が異なることがないように努める。</p>
<p>保育過程、指導計画の作成・評価について、理解でき、支援に行かせているか</p>	<p>B</p>	<p>日々の保育を計画・評価する際、必ず記録しているが、十分な理解をしながら作成できているか、職員自己評価の結果に表れている。研修等を通じて自己研鑽をし、より実践的な計画・評価ができるよう取り組む必要がある。</p>
<p>健康や安全・衛生管理を理解し、環境を整備し、取組を行っているか</p>	<p>B</p>	<p>感染症登園基準を定め、共通理解をしながら衛生管理に努めている。 事故発生時のマニュアルが不十分なので、どのような流れで行っていくか、事故を未然に防ぐことを中心に取り組みが必要と感じ、ヒヤリハット報告を行い全職員で共有している。</p>
<p>子どもに適切な食事を提供し、見直しや改善を行っているか</p>	<p>A</p>	<p>調理室を中心に、食事は十分配慮を重ねながら行っている。日々の給食もインスタグラムに掲載し、保護者がわかりやすく見ることができるようにしている。</p>
<p>保護者に対し、保育の内容や様子を伝える取組を行っているか</p>	<p>A</p>	<p>ホームページ等を活用し、日々の保育を公開している。ただし、お預かりしている目の前にいる子どもたちを保育し、支援し、見守ることが園職員の第一義であるので、そこをおろそかにすることがないようにすることが大事と考える。</p>
<p>職員の資質向上のため、所長の責務や指導力を発揮しているか</p>	<p>B</p>	<p>研修など十分機会を設けられていない現状。どう改善していけば資質向上につながるか模索している状況である。</p>

<保育の気づきと振り返り>

職員はそれぞれに計画を立て保育を行っていき、その日その日の日誌にて振り返りが十分出来ている。子ども達を十分観察しており、気付いた事に対してしっかりと考えを述べている職員がいる。次の日に反映していこうという姿勢も伺える。そのような所にはチェックをし、添削したり助言したり、直接 その点について話をしたりしながらより良い保育が出来るように進めている。また、保育が子どもの発達に沿っていないと感じる事もあるが、その都度話し合いをし、どの様に保育を進めていけば子ども達の発達を促していけるかと日々考慮している状態である。

<今後の課題>

クラス会議が出来ていないので、クラス会議をしながらクラスの状態を向上していきたいところだが、クラス会議では自分の意見を言えない職員も実際にいる。その点を考慮して、職員一人ひとりの意見もしっかり聞く機会を設けていきたい。園内のことは職員全員に周知して、共通理解をしていきたいとおもっている。

<今後の目標>

職員の困りごとをしっかりと受け止め、改善出来ることは改善していきたい。そのために、職員会議を必要に応じておこなったり、職員が気持ちよく仕事出来るような環境を設定することが主任の役割だと思うので、職員の意見も聞きながら保護者が頼れる保育園を目指していきたい。

保育は結果も大事だが、子ども達をいかにしてそこまで持っていくことができるかという過程・プロセスが重要である。保育士のそのような姿をしっかり認め、保育の向上に努めていきたい。